

次期学習指導要領 1枚まとめ｜高校

地理歴史・公民 高校

覚える社会から、問いと確かな情報で探究する社会へ

10秒でいうと　科目名は現行どおり。地理総合に導入単元を新設、「公共」の事柄・課題は13→10に精選

高校の地理歴史科・公民科は、科目名と単位数は今と同じとされています。そのうえで、探究的な学びを進める見直しが示されています。地理総合には導入単元「地理と私たち」（仮称）を設ける方向です。「公共」の事柄や課題は13から10にしぼる案です。調べる技能では、情報の妥当性を吟味する視点をより重視する方向です。

1 地理総合に導入単元

地理総合の大項目Aを再編し、導入単元「地理と私たち」（仮称）とする方向です。地理を学ぶ意味に気付き、科目の見通しをもつための単元です。景観観察で集めた情報をGIS（地図に情報を重ねる仕組み）で見える形にすることが示されています。 P151

授業では 学校周辺の景観を撮影し、GISの地図上に並べて気付いたことを話し合う。そこから1年間の学びを見通す授業が考えられます。

2 歴史は生徒の「問い」を生かす

歴史の3科目では、生徒が課題意識を問いとして表すことを明記する方向です。教師はその問いを後の学習で生かします。教科書の歴史用語は、網羅的に載せない編集が大事だと周知するとしています。その方向は「教科書等における用語の精選方針（仮称）」で示すとしています。 P152 P155

授業では 単元の初めに生徒が出した問いを掲示し、単元のまとめで「自分の問いにどう答えるか」を書かせる。そんな流れが一例です。

3 「公共」は13の事柄・課題を10に

公共では、主題を設定しやすくするため、13の事柄や課題を10にしぼる案です。たとえば「職業選択」と「雇用と労働問題」を一つにまとめる例が示されています。協働して追究する活動では、細かな制度の解説より基本的な原理に焦点を当てるとしています。 P152 P154

授業では 「働き方」をテーマに、職業選択と労働問題をまとめて扱い、原理をもとに意見を比べる。そんな授業が考えられます。

4 妥当性を吟味し、主権者として行動へ

高校では、批判的に情報を扱う視点をより重視し、「その妥当性を吟味しながら」調べまとめる方向です。
主権者教育では、現実の政治的な事象も扱う方向が示されています。選挙管理委員会などとの連携を進めます。政治的中立性の確保が重要とされています。 P148 P157 P158

授業では 同じ政策について立場の違う資料を読み比べ、出典と根拠を確かめてから模擬投票をする。そんな学習が一例です。

ほかにも変わること（高校）

- 学習内容をしぼり込む（具体例が示された） P153 P154
- 高校地理歴史：導入単元の新設と探究的な学びへの見直し P151 P152
- 高校公民：「公共」の事柄・課題を13から10へ P152 P154
- 「調べまとめる技能」に情報の正しさを確かめる力を加える P148 P159
- AIに頼った成果物が通用しない評価を工夫する P146 P159
- 主権者教育を「深める」「広げる」 P157 P158
- 社会の変化をふまえて扱う内容を充実する P156

原田英語.com 次期学習指導要領ナビ｜
https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/download/
｜2026年11月4日 版

研修・会議・授業・保護者会での印刷・コピー・配布・投影はご自由にどうぞ。
ご連絡は不要です。出典：審議まとめ（2026年10月5日）。告示前の方向性です。